

静

Shizuka

構成・出演：
音楽・出演：
照明：
オリジナル衣装デザイン：

木野彩子
八木美知依 (17 絃箏、21 絃箏、歌)
三浦あさ子
宮村 泉

しづやしづ しづのをだまき くりかえし むかしをいまに なすよしもがな



写真：内藤久義

日時： 2月7日（金）21:30 開演、 2月8日（土）20:00 開演（両日とも開場は15分前）
場所： BankART Studio NYK 3C ギャラリー 神奈川県横浜市中区海岸通3丁目9
料金： 3000円、TPAM パスホルター/学生 2500円（要予約）
主催： キノコチケット/木野彩子
問合せ： キノコチケット kinokoticket@gmail.com Tel: 080-4096-0610

2014年 TPAM Showcase 参加作品 [www.tpam.or.jp]

TPAM

「静」というタイトルは有名な白拍子静御前よりつけさせていただきました。

日本中世における男装の舞である白拍子舞は巫女と遊女という両極の女性像を内在しており、舞踊の根源を探るうえでとても興味深い事例だと考えます。しかしながら現在伝承されてはいません。資料や民俗芸能へのリサーチを元に現代における白拍子の舞を創り出そうと考えました。昨年神奈川芸術劇場にて発表した20分作品「しづ」を元に、音楽に国内外で活躍する箏奏者八木美知依さんと照明三浦あさ子さんを招き、祈りのダンスをBankART スタジオNYK 3階の倉庫空間に浮かびあがらせてます。

木野彩子（おどり）

札幌生まれ。大学にて舞踊教育学を専攻。“Edge”でYokohama Solo Duo Competition 2003 横浜市芸術文化振興財団賞を受賞。2004年文化庁在外派遣研修員、2005年よりロンドンにてRussell Maliphant Companyのダンサーとして活動しながら振付家としてもコンスタントに作品制作を行う。2009年より神奈川と札幌を拠点として一般へのコンテンポラリーダンス普及活動を開始。教育者として学校に携わるかたわら、教会、資料館などその場所や人々との対話で学び感じたことを作品としてまとめたり、リコーダーグループ、合唱団などとのコラボレーションも多く手がける。
<http://saikino.blogspot.jp>

八木美知依（17 絃箏、21 絃箏、歌）

邦楽はもちろん、前衛ジャズや現代音楽からプログレッシヴ・ロックそしてポップスまで幅広く活動するハイパー箏（こと）奏者。故・沢井忠夫、沢井一恵に師事。NHK 邦楽技能者育成会卒業後、ウェスリアン大学客員教授として渡米中、ジョン・ケージ、ジョン・ゾーンらに影響を受ける。世界の優れた即興家と共演しながら、アコーディオン奏者coba、Porcupine Treeのステイーヴン・ウィルソン、浜崎あゆみ、アンジェラ・アキ、Takuya（元Judy & Mary）らのレコーディングやステージにも参加。08年にラヴィ・シャンカール、パコ・デルシアらと並んで英ワールドミュージック誌 *Songlines* の《世界の最も優れた演奏家50人》に選ばれている。
<http://michiyo-yagi.cocolog-nifty.com>（日本語） / <http://www.japanimprov.com/myagi>（英語）